



近藤じゅん子通信 vol.32

区議会公明党が要望した防犯用品購入・設置費用助成がスタート！

第1回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和7年2月20日(趣意)

子育て支援

今後の子育て支援について

質問 東京都は、本年9月から0～2歳児の第1子保育料を無償化するとの発表がありました。

渋谷区では、我が会派の提案で開始された「にこにこママ」事業は、ベビーシッターや家事支援ヘルパーを派遣する制度として、利用者からも大変好評をいただいております。

また、「ちよこつと通園」事業として、保育施設の空き定員を利用して、保護者の就労状況を問わない未就学0～2歳児を定期的に預かる事業も始まりました。

今後、具体的にどの様に拡充されるのか、ご所見を伺います。

答弁 (区長) 本区では、貴会派からの提案を受け、子ども子育て施策に取り組んできました。特に「渋谷区ネウボラ」は多方面から評価を得てきたところです。

来月には、第3期渋谷区子ども・子育て支援事業計画が策定され、「共に育もう、一人ひとりの子どもの笑顔が輝き、子育てのよここびが実感できる街 渋谷」を理念とし、子供を中心とした視点を取り入れ、社会環境にも柔軟に対応できる計画となっています。

保育士相談窓口について

質問 東京都保育士実態調査結果によると、職場を辞めた理由は、全体で「職場の人間関係」(38・1%)が最も多く、次いで「仕事量が多い」(25・2%)、「労働時間が長い」(20・9%)、「給料が安い」(20・6%)となっています。

我が会派の提案を受けて、令和7年度に『保育士の相談窓口』設置予算の計上がされました。

保育士が相談しやすい環境、また寄り添う体制がこの相談窓口には求められていると思います。今回設置される相談窓口の体制を伺います。

答弁 (区長) 外部機関に委託し、職場を離れることなく、土曜、日曜日でもメールで相談できる体制を整えます。

専門的な見地から助言を行い、相談内容に応じて関係機関とも連携することで、保育士の不安を解消し、就業の継続を支援してまいります。



教育

青山キャンパス仮校舎について

質問 青山キャンパス仮校舎には、初めに広尾中学、松濤中学の2校が通学します。

広尾中学と松濤中学の通学方法について、自転車通学も含めて伺います。

また、自転車通学には保護者を含め、安全教室等を開催するなど、配慮が必要と考えます。

2点目に、青山キャンパスへの通学路の安全対策について、現在、検討している事を伺います。

幹線道路にも隣接し、近隣には清掃事務所や再開発の車両の行き来も多いため、渋谷警察をはじめ、庁内連携をしながら安全対策を万全に講じていかなければならないと思います。

答弁 (教育長) 青山キャンパスから概ね1・5km圏内は徒歩通学を基本とし、一定の要件の下、広尾中学校についてはスクールバスと自転車通学、松濤中学校については交通費補助と自転車通学を実施する準備を進めています。

自転車通学申請時に、自転車安全学習アプリによる学習を親子とも行うことを要件とすることや、警察と連携して安全教室の実施を予定しています。議員ご提言の、保護者も安全教室に参加することについては検討いたします。

安全対策については、昨年度、警察と連携し、青山キャンパス周辺の状況確認や対応策について検討しました。また、清掃事務所とも情報を共有し、安全対策の協議を始めたところです。



キャリア教育について

質問 東京都教育委員会では、将来、自分にとって最もふさわしい進路を主体的に選択し、自己実現を図っていくことができる自立した人材を育成するという、キャリア教育を推進しています。

今回、渋谷区においても1月16日に「声優によるキャリア教育」が、けやき教室で開催されたと伺いました。

その事例と効果を伺います。また今後、探求学習で他校も活用をされることを期待しています。

答弁 (教育長) 「声優によるキャリア教育」は、けやき教室の通学生23名が参加しました。

人気声優の朴璐美(ぱくろみ)さんが来所し、文学作品の朗読や、子供たちが描いたイラストへのアテレコ、通学生との朗読劇が行われ、迫力のあるプロの技に終始驚いていました。

子供たちからは、「無理だと思っても挑戦することの大切さを感じた」「今つらくても、それが今後の支えになるかもしれない」という言葉が印象的だった」などの感想があり、熱いメッセージに、感激して涙ぐむ子供もいました。

こうした心を動かされる体験は、子供たちの感性を育むとともに、成長の大きな糧になるものと感じています。そのニーズは高いと考えられ、今回の体験活動を広く学校に周知してまいります。

健康

女性の健康相談事業の拡充について

質問 我が会派は毎年、女性の健康事業について提案をしてきました。

令和6年度は女性専門健康相談を3回、それぞれ4枠の予約制で行っていただきました。大変需要があり、多くの方から拡充していただきたいとの声をいただいております。

令和7年度の事業の詳細を教えてください。また各保健所ごとに地域密着の開催が望まれていますがいかがでしょうか。

答弁（区長）開催回数と定員の増加に向けて、渋谷区医師会と協議を行っているところです。

議員ご提案の実施場所の拡充についても、区民のニーズを踏まえ検討していきます。

带状疱疹ワクチン助成について

質問 我が党が国会質問や政府への提言で带状疱疹のワクチンの定期接種化を訴えてきました。

発症する人の割合は70歳代が最も高く、80歳までに約3人に1人が発症するといわれ、希望する高齢者の接種を後押しする意義は大きいと思います。

令和7年度4月より定期接種が始まります。定期接種の対象者について詳細を教えてください。

また、ワクチン助成の周知方法についても丁寧な対応が必要だと考えています。

答弁（区長）定期予防接種の対象者は、65歳から95歳の5歳刻みの年齢の方、及び100歳以上の年齢の方となり、接種費用を全額、公費で助成します。

また、本年4月に定期予防接種対象者へ個別通知を発送し、区ウェブサイトや区ニュースなどでも周知していきます。

50歳以上の定期予防接種対象外の方には一部接種費用の助成を継続し、区ウェブサイトや区ニュースなどで周知を図っていきます。

物価高騰対策

ハチペイについて

質問 長期に及ぶ物価高騰は家計や事業活動に深刻な負担を与

えています。

これまで物価高騰対策として、我が会派が提案した「プレミアム付きハチペイデジタル商品券の販売」、「ハチペイ30%還元キャンペーン」など、区民と区内店舗等に寄り添う支援策を講じてきました。令和7年度もハチペイ「プレミアム付デジタル商品券販売の第4弾」や様々なキャンペーンの実施が予算化され、大変嬉しく思います。

この政策を進めていくと同時に、デジタルデバйд解消のサポートは大変重要で、誰でも安心してハチペイを活用できるサポートを丁寧に推進していただきたいと思っています。

答弁（区長）区役所に常設している「ハチペイサポートデスク」のほか、区施設の「スマホサロン」におけるデジタル支援員のサポートなどを実施しています。

また、現在区内10か所にハチペイ専用チャージ機を設置し、比較的簡単にチャージできることから、多くの高齢者等に利用されていますが、新年度にはさらにチャージ機を6台拡充し、区内で16か所に設置する予定です。

安心・安全

防犯用品購入・設置費用助成について

質問 我が会派は本年1月7日、昨今の闇バイトなど、強盗犯罪が

ら区民の生活を守るため、カメラ付きインターホンや防犯フィルム等、防犯用品購入・設置費用助成の緊急要望を行いました。

来年度、いよいよ防犯用品購入・設置費用助成が始まります。今回の助成の対象、金額、品目など詳細を教えてください。

答弁（区長）対象は区民、金額は機器本体及び工事費の2分の1補助で、1世帯の上限は2万円です。品目は家庭用防犯カメラ、カメラ付きインターホン、防犯フィルムなど防犯用品全般が対象です。



区内主要道路の一点検について

質問 埼玉県八潮市で起きた道路陥没を受け、直径2メートル以上の下水管について、腐食などの異常がないか点検するよう都道府県などに通知しています。

そこで現在、渋谷区において路面下空洞調査はどのように行われているか、また喫緊の課題として指摘される路面はあるのか、ご所見を伺います。

答弁（区長）路面下空洞調査については幹線及び重要道路のほか、生活道路を含めて、今年度に全域の調査が完了しました。

ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

—— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ——

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

●総務委員会

●自治権確立特別委員会副委員長

渋谷区議会公明党控室
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962
携帯 090-2221-7507



ホームページ



X (旧 Twitter)



Facebook



LINE